# 施策評価シート(令和元年度~4年度)

分野 7 社会基盤 政策 1 地域連携や交流の拡大に貢献する道路の整備と活用を推進します 
 評
 所属
 建設局 道路部 道路計画課

 価
 責

 任
 我
 課長 塚田 俊明

施策 1 広域交通ネットワークの強化

施策の 目的 道路は、活発な経済活動による都市の発展や、快適な市民生活による暮らしの充実を支える基本的かつ重要な社会基盤です。豊富な観光資源を活用した交流人口 の拡大や物流効率化などを地域活性化に活かしていくため、国道1号静清バイパス及び中部横断自動車道の整備促進、将来道路ネットワークの構築、高速道路ICア クセス道路の整備を推進し、広域交通ネットワークの強化を図ります。

### (1)総合評価

	令和元 年度	A:施策の目的が達成されている。	理由	国直轄道路事業である国道1号静清バイパスの整備促進については、地元調整や要望活動の実施により事業を促進した。 中部横断自動車道の整備促進ついては、支援活動を実施し、事業を促進した。 ICアクセス道路の整備推進については、(主)清水富士宮線等の事業進捗を図った。 国道1号、中部横断自動車道の整備促進、ICアクセス道路の整備進捗が図られていることから道路評価は「A」とした。
総合	令和 2 年度	_	理由	_
一個	令和3 年度	_	理由	_
	令和 4 年度	_	理由	_

<sup>※【</sup>評価基準】S:施策の目的が十分に達成されている。A:施策の目的が達成されている。B:施策の目的があまり達成されていない。C:施策の目的が達成されていない。 ※総合評価は、原則、指標の達成状況(達成率)に基づき判断する。ただし、指標の分析結果や指標以外の成果等により、指標の達成状況(達成率)と異なる評価とする場合は、その理由を必ず記載すること。

### (2)成果指標

	指標名	現状値	年度	目標値	実績値	達成率(%)	評価	目標値の算出根拠
			1	45. 00%	45. 63%	101. 4%	а	
	  高速道路 Cアクセス道路の整備率	32. 80	2	_	_	_		H30年度末:高速道路ICアクセス道路の整備率32.80% ⇒ R4年度末:100% 対象 7 路線全体延長10.41 k mに対する完了済延長の割合
	同区追路10万万で入退路の金属学	(H30年度)	3	_	_	_	_	○清水富士宮線外6路線 L=4.75km ⇒ 4.75÷10.41=45.63%
			4	_	-	_	_	
成			1					
成 果 指 標			2					
標			3					
			4					
			1					
			2					
			3					
			4					
<b></b>							1	

※【評価基準】s:105%以上、a:95%以上105%未満、b:85%以上95%未満、c:70%以上85%未満、d:70%未満

### (3)施策を構成する主要事業

主要事業名	主な活動内容	優先	年度	現計予算額	前年度からの繰越額	決算額		達成		
工女书未石	工な心刬的谷	順位	十茂	九日   子段		<b>八</b> 开锁	正規	非常勤	臨時	状況
			1	2, 123, 947	0	1, 583, 768	2. 1	0. 0	0. 1	
  国道1号静清バイパス整備促進	①整備促進のための要望活動の実施	3	2	_	_	_	_	_	_	
国担   万部月八日八八正開促進	②国・地元との調整		3	_	_	_		_	_	
			4	_	_	_	_	_	_	
	①理事会・総会の開催		1	2, 919	0	1, 784	3. 1	0. 5	0. 1	
中部横断自動車道の整備促進	②要望活動の実施 ③啓発活動の実施 ④シンポジウムへの参加	2	2	_	_	_	_	_	_	0
11 11 11 11 11 11 11 11 11 11 11 11 11			3	_	_		_	_	_	
	⑤各同盟会等への参加		4	_	_	_	_	_	_	
	整備方針の検討		1	6, 900	1, 200	1, 200	2. 1	0. 0	0. 1	0
  静岡南北道路の調査検討		1	2	_	_	_	_	_	_	
BI INTERIOR OF THE INTERIOR			3	<del></del>	_		_	_	_	
			4	_	_	_	_	_	_	
	①整備促進のための要望活動の実施 ②ICアクセス道路の整備		1	1, 178, 000	2, 020, 598	2, 554, 576	8. 9	0. 6	0. 2	0
  高速道路ICアクセス道路整備推進		1	2	_	_	_	_	_	_	
			3	_	_	_	_	_	_	
			4	_	_	_	_	_	_	
			1							
			2							
			3							
			4							

L ※主要事業の優先順位は、各施策の目的や指標を達成する上で、重要度、貢献度などの観点から高いものから順位とする。 ※達成状況の凡例(◎:計画より進んでいる、○:計画どおり進んでいる、△:計画より遅れている、一:計画上実施時期が到来していない)

## (4) 今後に向けた見直し等

年度	課題	見直しの方向性
令和元年度	なし	
令和2年度	_	_
令和3年度	_	_
令和4年度	_	_

## 施策評価シート(令和元年度~4年度)

 
 評
 所属
 建設局 道路部 道路計画課

 债
 任

 者
 氏名
 課長 塚田 俊明

施策 2 道路網の整備による交流機能向上

施策の 目的 道路は、活発な経済活動による都市の発展や、快適な市民生活により暮らしの充実を支える基本的かつ重要な社会基盤です。都市の発展、快適な市民生活を支え るため、国道、県道、市道、都市計画道路を整備することで、交流機能の向上を図ります。

#### (1)総合評価

	令和元 年度	A:施策の目的が達成されている。	理由	都市計画道路の整備率については、(都)日出町高松線等12箇所について目標年度の供用開始に向け事業の進捗を図った。新規の供用開始路線がないため、整備率 の増加はないが、目標の供用開始年度に向け事業が進捗されている。 国・県・市道については、(主)梅ヶ島温泉昭和線等において事業進捗を図った。 これらのことから、一定の成果を達成していると判断し、評価は「A」とした。
総合	令和2年度	_	理由	_
合 評 価	令和3年度	_	理由	_
	令和 4 年度	_	理由	_

<sup>※【</sup>評価基準】S:施策の目的が十分に達成されている。A:施策の目的が達成されている。B:施策の目的があまり達成されていない。C:施策の目的が達成されていない。 ※総合評価は、原則、指標の達成状況(達成率)に基づき判断する。ただし、指標の分析結果や指標以外の成果等により、指標の達成状況(達成率)と異なる評価とする場合は、その理由を必ず記載すること。

### (2)成果指標

	指標名	現状値	年度	目標値	実績値	達成率(%)	評価	目標値の算出根拠
			1	82. 28%	82. 28%	100. 0%	а	
	   都市計画道路の整備率	82. 28%	2	_	_	_	_	都市計画道路の整備率:都市計画道路総延長371,620mに対する完了済延長 ○ (都) 宮前岳美線外10路線 L=305.795km
	即川計画足路の金浦平	(H30年度)	3	_	_	_	_	⇒305. 795÷371. 620=82. 28%
			4	_	1	_	_	
成			1					
果指			2					
標			3					
			4					
			1					
			2					
			3					
			4					
110		!						

※【評価基準】s:105%以上、a:95%以上105%未満、b:85%以上95%未満、c:70%以上85%未満、d:70%未満

### (3)施策を構成する主要事業

主要事業名	主な活動内容		年度	現計予算額	前年度からの繰越額	決算額		達成状況		
工女节木石						八开识	正規	非常勤	臨時	状況
			1	2, 957, 521	1, 887, 107	3, 759, 407	22. 5	1. 4	0. 3	0
国道・県道の整備推進	①予算確保のための要望活動の実施	1 1	2	_	_	_	_	_	_	
日足・水道が正備に進	②国道・県道の整備	'	3	_	_	_	_	_	_	
			4		_	_	_	_	_	
			1	3, 264, 968	1, 416, 402	2, 875, 953	23. 6	1. 5	0. 4	0
  市道の整備推進	①予算確保のための要望活動の実施	1	2	_	_	_	_	_	_	
	②市道の整備		3	_	_	_	_	_	_	
			4	_	_	_	_	_	_	
	①予算確保のための要望活動の実施		1	1, 085, 520	388, 773	1, 455, 356	8. 2	0. 5	0. 2	
  都市計画道路の整備推進		1	2	_	_	_	_	_	_	
	②都市計画道路の整備		3	_	_	_	_	_	_	
			4	_	_	_				
	①予算確保のための要望活動の実施		1	207, 000	85, 508	119, 229	2. 5	0. 1	0. 1	0
(都)羽衣海岸線、(都)清水港三保線の整備推進		1	2		_	_	_	_	_	
	②(都)羽衣海岸線、(都)清水港三保線の整備		3	_	_	_	_	_	_	
			4		_	_	_	_	_	
			1							
			2							
			3							
			4							

※主要事業の優先順位は、各施策の目的や指標を達成する上で、重要度、貢献度などの観点から高いものから順位とする。 ※達成状況の凡例(②:計画より進んでいる、〇:計画どおり進んでいる、△:計画より遅れている、一:計画上実施時期が到来していない)

## (4) 今後に向けた見直し等

年度	課題	見直しの方向性
令和元年度	なし	
令和2年度	_	_
令和3年度	_	_
令和4年度	_	_